

馬 俊堯 (Ma Junyao)

中国

会社員

①新型コロナウイルス感染拡大前後で生活はどのように変化しましたか。

コロナが拡大するまで、私は姫路の大学に留学していました。大学に行かないときは、姫路市内を散策したり、旅行を楽しんだりしていました。日本でもコロナの拡散が確認されたとき、中国にいる親が私のことをとても心配して、留学を中断せざるを得ませんでした。中国に帰国後は、従来楽しかった授業がオンラインになってしまって、以前より集中できませんでした。自分は無事に日本企業の中国子会社に就職できたので、就職の面では大きな影響を受けませんでした。多くの同級生から、会社に入れなかったという話を聞いています。入社後も、感染したら会社に罰せられるので、思うように外出できませんでした。

②コロナ禍で気づいたことや学んだことはなんですか。

コロナになって、私たちが当たり前のように過ごしていた日常生活のありがたさに気付きました。1990年代から始まり、2020年代まで続いた平穏な時代は終わりました。世界は再び、激動の時代に入るかもしれません。将来の自分が、過去を思い出すと楽しかったと言えるように、今を生きる私たちは日常生活を大切にし、思い出を作っておかないといけません。

③アフターコロナ、ウィズコロナでしたいこと、得たものをどのように活かしたいですか。

ウィズコロナの時代を、私は自分らしく生きたいです。ゼロコロナ時代に課せられた行動制限はだいぶ解除されました。今の私は、自分が求めるものを求めようと思います。

④現在（2022年12月）の中国での生活はどうですか。

中国はゼロコロナ政策から脱却したばかりで、国中で感染が急速に拡大しています。私がいる広州市は大都市で、感染の第一波を真正面から迎えました。感染者が急増した2週間は街が閑散としていました。その後、家で静養していた感染者が徐々に回復したので、お店では客足が伸びてきています。今後、町の活気がビフォーコロナの時代に戻ることを期待しています。

⑤中国と日本との違いを強く感じた場面があれば教えてください。

「クラスター発生防止」という大義名分のために、人生の一大イベントである結婚式や、大学の卒業式も禁止するのに、毎日行われる住民全員強制PCR検査で長い列ができます。日本なら、PCR検査を強制することはないだろうと思い、強い違和感を覚えました。PCR検査会場ならウイルスが空気読んでくれるからクラスターが発生しないのねと自分を納得させました（笑）。

⑦姫路のみなさんへのメッセージ

大好きな姫路よ、必ずまた会いに行きます。